

流行ものから 見えるもの

社会見学でまちおこし

—工場を見せて、客を魅せよう!—

型レジャーが満喫できるわけだ。

これらのブームの背景にある一つが、不況による消費の冷え込みである。そんな時代には、日常の生活用品はもちろん、休日のレジャーも「安く、楽しく、得もしたい」となるのが人情。入場料が要らず、ちょっと知的で、ときには記念品ももらえる工場見学は最適、というわけだ。

もう一つが、昨今の食品などの原材料の偽装や製造工程をめぐる事故の多発である。ならば「あの商品は何を原料に、どうやって作られているのか？」への関心がわくのも当然。片や、企業はPRと同時に消費者の安心と信頼を獲得できる。地域にとっては、新たな施設を造らなくても地元

の観光とはひと味違う体験

の魅力をアピールでき、観光客も増やせるのが魅力なのだ。

また、有名企業の工場などがない場合も、地元特産や地場産業の製造所や農場・農園などをめぐると、コースは組めるだろう。告知も、手間や予算を掛けずに全国に情報発信ができるインターネットを使えば安く、簡単にできるのがうれしい。

ただし、やはり成功に欠かせないのは魅力的な場所の選び方と魅惑的な接遇法。そのためにも、都会の人々の生活意識やニーズを察知する感性と、小まめなトレンド観察がより大切な時代である。

NML野村オフィス

代表 野村 正樹

会議所11月の動き

- 1日(出) ・健康づくりフェスティバル
- 2日(日) ・創業塾
- 4日(火) ・(社)新発田青年会議所第3回まちづくり座談会
- 5日(水) ・経営指導員研修会
- 6日(木) ・東部商工連絡協議会研修会
- 7日(金) ・経営指導員研修会
- 8日(土) ・正副会頭会議
- 9日(日) ・日本商工会議所青年部第28回全国大会大津大会(～8日)
- 10日(月) ・農商工等連携モデル地区打合せ会議
- 11日(火) ・経営指導員研修会
- 12日(水) ・新潟県青色申告連合会 正副会長会議(～8日)
- 13日(木) ・創業塾
- 14日(金) ・新発田にいきづく城下町の文化大晦と楽しむ清水園園遊会
- 15日(土) ・新公益法人制度に関する説明会
- 16日(日) ・納税表彰式・記念講演会
- 17日(月) ・新潟県商工会議所連合会 中堅職員研修会(～13日)
- 18日(火) ・新発田社会保険委員大会
- 19日(水) ・下越地区商工会議所共済事業研究協議会
- 20日(木) ・敬和学園大学就職懇談会
- 21日(金) ・事業承継個別相談会
- 22日(土) ・一日公庫相談会
- 23日(日) ・第120回簿記検定試験
- 24日(月) ・部会合同視察研修
- 25日(火) ・第3回新発田市所蔵アートコレクション展オープニングセレモニー
- 26日(水) ・新潟県産業教育振興会 新発田・村上地区学校・地域連絡会議
- 27日(木) ・日商委員会(下越専務理事研修会)(～20日)
- 28日(金) ・労働保険事務組合事務担当者研修会
- 29日(土) ・飲食店部会
- 30日(日) ・新発田中央ロータリークラブ創立15周年記念式典・祝賀会
- 31日(月) ・(社)新発田青年会議所第4回まちづくり座談会
- 1日(出) ・健康づくり事業関係連絡会議
- 2日(日) ・新潟県商工会議所青年部連合会役員会・会長会議・臨時総会
- 3日(月) ・第21回福祉住環境コーディネーター試験
- 4日(火) ・労務セミナー
- 5日(水) ・新発田・村上地域 道州制に関する意見交換会
- 6日(木) ・新発田市公共交通活性化協議会

昨今、観光業界で静かなブームとなっているのが「工場見学」だ。その代表は、酒類、加工食品、乳製品、調味料などの工場に地元の人々や観光客を招き、製造工程を案内し、試飲・試食やグッズ販売なども併設するガイド・ツアー。中にはお菓子づくりなどの体験ができる施設もあり、団体旅行や家族連れなどの人気を呼んでいる。

そうした試みをまちおこしの一環として取り組んで

いる自治体や商工会議所や観光協会も増えてきた。例えば鳥取県米子市では「大人達の社会見学」と題して市内や近隣の五カ所の企業・施設の見学スポットを選定。全国の「美味(おい)しい水道水ベスト32」に選ばれた水道局をはじめ、大手製糸工場、航空自衛隊の基地、競走馬の育成トレーニング場、名峰・大山のふもとにある天然水工場などを回りながら、通常の観光とはひと味違う体験